

じっくり心をこめて

スロー フード

82



にいがた地鶏と地物野菜の煮物

霧出地区食生活改善推進員の皆さんが作った一品です。

ご家庭にある食材で出来る昔ながらの煮物です。材料はご家庭にあるもので十分です。寒い冬にはあったかい煮物がおすすめです。

《今月のご紹介》

霧出地区食生活改善推進員 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・にいがた地鶏もも肉 80g ・大根 160g
- ・人参 60g ・ごぼう 60g ・たけのこ(水煮) 60g
- ・さといも 120g ・こんにゃく 60g
- ・厚揚げ 60g ・ちくわ 40g ・干しいたけ 2枚
- ・だし汁 2と1/2カップ ・いくら 飾りで少々

【調味液】

- ・酒 大さじ1と1/2 ・みりん 大さじ1弱
- ・砂糖 小さじ2 ・塩 小さじ2/3
- ・しょうゆ 大さじ1弱

作り方

- ①鶏肉はひと口大に切る。
 - ②大根、人参、ごぼう、さといもは皮をむいてひと口大の乱切りにする。たけのこも乱切りにする。ぜんまいは戻したものを3cm長さに切る。
 - ③干しいたけは戻して石づきをとり、4等分に切る。こんにゃくはひと口大に切って下ゆでし、厚揚げは熱湯をかけて乱切りにする。ちくわも乱切りにする。
 - ④鍋だし汁と大根、人参、ごぼうを入れて火にかけしばらく煮る。残りの材料と調味液の2/3を加えて煮込む。様子を見ながら残りの調味液を加えて味を調える。
 - ⑤皿に盛って、いくらを飾る。
- ★だし汁は昆布とかつお節でとり、しいたけの戻し汁を加えたもの方がいいです。

せきかわ文芸

短歌

晩秋に白き山茶花散り敷きて
踏まれゆくなり人や車に

須貝 恵美

(高田)

雪囲いする庭に座りて一服の
時に加わる小春日和も

小池 啓子

(下関)

飯豊山光兎山と雪を見て
冬將軍を逆える支度

佐藤 庄七

(愛広苑)

高窓ゆ冬の陽射しがさし込みて
旧家の居間に温もりひろる

渡辺千恵子

(上関)

関川俳句の会作品

雨つづき日和見つけて冬支度

渡辺しづい

木を囲う手先に黄蝶もつれ舞う

渡辺しづい

月高し影踏みしたる日は遠し

渋谷 くに

秋の夜の枕辺におく旅の本

渋谷 くに

枯庭にすずらの実の赤く在り

南 セツ

漬物の味を確かめ冬支度

南 セツ

冬支度のごとくに銘酒送りけり

青木 慶一

売約の札つけ新巻吊られおり

青木 慶一



如意山松岳寺第二十二世高橋文明さんは大正十五年十二月九日山形県鶴岡市、蓮台院の住職地主慈明の三男として生まれ、昭和二十年早稲田大学商科に入学したが一年修了で退学し、

近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

高橋 文明

（湯沢在住）

昭和二十一年松岳寺二十一世和尚高橋祖舟の養子となる。昭和二十四年三月駒沢大学専門部仏教科を卒業。以後祖舟のもとで修業を積み、昭和三十七年十一月から松岳寺住職に就いた。

昭和四十二年八月二十八日の大水害で寺は壊滅的被害を被ったが住職を始め檀家や地域の人々の努力により立派に復興を果した。そして関川村は湯沢観音公園内に八・二八水害殉難者三十四人の名を刻んで慰霊碑を建立、毎年慰霊祭を行っている。

信心するのは人だけではなかった。寺に七年間も住みつき、住職の頭の上に行儀よくとまり読経の声に合わせて「ピーピー」と唱和する信心スズメのピーコが話題となった。

高橋文明さんは昭和二十五年三月三十一日から三十一年三月まで（関谷中学校教諭、及び昭和三十八年五月から五十七年三月まで（村上中学校教諭、荒川中学校教諭、村上第一中学校教諭）二十四年にわたり新潟県公立学校教員として、また昭和三十一年九月から三十八年四月まで六年余りにわたり山形県公立学校教員及び鶴岡市立公民館事務職員として勤め、合わせて三十一年余りの間教育関係に携わり、多くの功績を挙げた。

高橋文明さんは多彩な社会活

動により培われた豊かな経験と誠実な行動により、昭和六十二年四月総務長官（現総務大臣）から行政相談員の委嘱を受け、以来二十年にわたって行政相談活動に精励した。地域住民からの行政に対する苦情を受けて、関係部局に通知し、その解決を促すとともに、意見や要望を取り次ぐなど地域住民のために尽力した。また平成五年四月から十四年間、新潟行政相談員協議会理事、平成十三年四月から六年間下越地区行政相談委員協議会長を務め、行政相談委員のリーダーとして行政相談制度の発展向上に多大な貢献をした。

そのほか、関川村の社会教育委員（委員長）、公民館運営審議会委員（委員長）、青少年育成村民会議運営委員、文化財調査委員、生涯学習推進協議会長等を歴任し、地域活動に積極的に携わり地域の発展に貢献した。

平成十八年四月十五日長年の行政相談功勞により小泉純一郎内閣総理大臣主催「桜を見る会」に招待され、翌平成十九年四月瑞宝双光章を受章した。

○松岳寺の系図

開祖

二十世

玉翁守瑄和尚・満舟和尚

二十一世

祖舟和尚・文明和尚

せきかわ文芸

せきかわ川柳会作品「決める」「模様」

着て脱いで立って座ってやっと決め

渡辺しづい

運動会目覚めて先ずは空模様

渡辺しづい

幼な児はドングリ宝握りしめ

佐藤 ノブ

病みて知る情一言名薬よ

佐藤 ノブ

神様も決めかねている思案顔

平田 千恵

気に入った模様にサイフ待ったかけ

平田 千恵

展示会一目惚れした訪問着

本間 イミ

縁談も返事来る迄悩む日々

本間 イミ

答弁に決め手があって押し切られ

南 セツ

父ちゃんの一言あって決めた縁

南 セツ

せきかわ文芸への投稿をお待ちしています

せきかわ文芸コーナーは、一般・中学生・高校生どなたでも投稿することができます。

広報せきかわは、皆さんからの素晴らしい作品をお待ちしています。

■基本事項

◇俳句・川柳「五・七・五」※俳句には季語が必要です。

◇短歌「五・七・五・七・七」

■問い合わせ・投稿先

◇役場総務課総務班（広報編集室）

☎六四―一四七六